

【令和5年度 授業改善推進プラン】

板橋区立北野小学校

【体育】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことが好きな児童が多く、意欲的に取り組んでいる。 ・日ごろから運動している児童としていない児童とでは運動能力に個人差がある。そのため年齢相応の運動感覚が身につけていない児童も多い。 ・発達段階に合う運動感覚が身に付いていない児童もいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差に対応できるように、それぞれの運動において段階をおって練習する場の設定が必要である。 ・児童同士の学び合い(協働学習)があまりできていない。 ・個々の能力に応じた支援が十分ではない。 ・思考の思考力・判断力を育てるための手立てが十分にできていない。 ・運動技能に差があり、それぞれに合った場や環境を整え、その使い方を伝えていくのが難しい。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの運動の特性や個人のめあてに応じた、場の設定を工夫していく。 ・ペアやグループで学ぶ機会を多くつくる。その際に、どこを見てどのようなポイントがあり、どのような言葉掛けをすればよいかを明確にする。 ・ICTやワークシートを用いて自らの動きやと友達の動きを見比べ、技の技能が上がるように教えあったりや支え合ったりすることができるようにする。 ・達成感を体感できるような学習計画を立て、学習カードなどを使って児童の実態に合わせた段階的な指導(スモールステップ)をする。 ・小学校、中学校で互いに授業を見合っ、意見交換やアイデアを出し合い、授業改善をしていく。9年間の見通しを持ち、系統性を理解して指導ができるようにする。 ・身に付けた技能や知識を、活動場面で活かすような指導をする。 ・低学年においては、具体的なねらいは教師側としてもちつつも、児童には遊びながら楽しく身に付けられる活動をより多く取り入れる。